

岡山市政令指定都市移行・市制施行一二〇周年記念
岡山市立オリエント美術館開館三〇周年記念

ユーラシアの風 新羅へ



金冠飾 慶州 金冠塚 5世紀
韓国国立中央博物館



文殊像 慶州 羅江洞古墳 7世紀
韓国国立慶州博物館



銀製模倣文水壺 ササン朝ペルシア 6-7世紀
MIHO MUSEUM

Eurasian Winds toward Silla

2009年 6月13日(土) ~ 7月26日(日)

入館料 一般 900円 満65才以上の方/高大生 800円 小中生 500円
前売 (一般) 800円

主催 岡山市立オリエント美術館 岡山放送株式会社

協力 MIHO MUSEUM 古代オリエント博物館 大韓民国国立慶州博物館

岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町9-31 Tel. (086)232-3636 Fax. (086)232-5342
<http://www.city.okayama.jp/orientmuseum/>

後援 岡山県 岡山県教育委員会 岡山市 岡山市連合町内会 岡山市連合婦人会 岡山市PTA協議会 岡山県文化連盟 岡山オリエント協会 オリエント美術館友の会 山陽新聞社 岡山日日新聞新社
朝日新聞岡山総局 読売新聞大阪本社 毎日新聞岡山支局 産経新聞岡山支局 日本経済新聞岡山支局 中国新聞岡山本社 駐日韓国大使館 韓国文化院 在日本大韓民国岡山県地方本部

Okayama
Orient
Museum 30周年

特別展 ユーラシアの風 新羅へ



馬形土器
前3世紀～前1世紀 イラン
古代オリエント博物館

新羅は韓半島南東部、現在の慶尚北道慶州市周辺で成立し、発展して三国統一を成しとげ（668年）、高麗に屈して滅亡（935年）しました。今日、慶州の街を訪れた人々が眼にする小山のような墳墓の多くは5～6世紀にかけて集中して築造されたものです。これら大型古墳には金冠をはじめとする華麗な貴金属製品などが副葬されており、新羅王の強大な権力を垣間見ることができます。

新羅の物質文化の特異さは伝統文化に混じって思いがけない外来文物が入り込んでいる点です。しかも、それは決して偶然流入したというレベルではありません。たとえば5・6世紀の外来文物には、ガラス容器やガラス珠、金属製品など西アジアをはじめとする西方から運ばれたものが多く見られます。また、様々な遺物に刻まれた文様にも西方に起源するものが含まれているのです。この時期、ユーラシア大陸を東西に横走る物資集散の交易網が形成されており、そのルート的一端に新羅が位置していたことは間違いないようです。

本展は、大韓民国国立慶州博物館所蔵品を中心とする新羅古墳出土品と、岡山市立オリエント美術館、MIHO MUSEUM、古代オリエント博物館などが所蔵する西アジア考古美術品あわせて約150点を対照して展示、古代ユーラシア大陸を舞台に繰り広げられた壮大なスケールの文化交流をひもときます。

岡山市立オリエント美術館

Okayama Orient Museum

〒700-0814 岡山市北区天神町9-31

Tel. 086-232-3636 Fax. 086-232-5342

<http://www.city.okayama.jp/orientmuseum/>

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週月曜（7月20日（月・祝）は開館、翌21日（火）休館）

入館料 一般 900円

満65歳以上の方・高大生 800円

小中生 500円

前売 800円（一般のみ）

障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料

（20名以上の団体は各100円割引）



岡山市北区天神町9-31 TEL 086-232-3636 FAX 086-232-5342

JR岡山駅東口より徒歩約5分、「天神」下車、左手すぐ。

JR岡山駅東口より徒歩約15分。

*当館には車椅子利用設備はありませんが、右近天神町駅南口までご利用の可否、当館受付にてお尋ねください。



角杯・角杯台
5～6世紀 慶州 蘇那王陵C地区7号墳
韓国国立慶州博物館



ガラス珠付首飾
5～6世紀 慶州 蘇那王陵C地区4号墳
韓国国立慶州博物館



金製耳飾
6世紀 慶州 蘇那王陵151号墳
韓国国立慶州博物館



鉄製宝剣
5～6世紀 慶州 蘇那王陵14号墳
韓国国立慶州博物館



鉄製銅甲文杯
5～6世紀 慶州 蘇那王陵北墳
韓国国立慶州博物館



鉄製銅甲文杯
6世紀 慶州 天馬塚
韓国国立慶州博物館



馬形土器
5～6世紀 大邱永昌
韓国国立大邱博物館



獅子頭飾角杯
前3世紀～前6世紀 前アケメネス朝時代
MIHO MUSEUM



金銀器装束文様（棺床屏風部分）
6世紀 中国北周
MIHO MUSEUM

■ 関連事業

特別講演会（聴講料500円・いずれも定員80名・要予約）

6月13日「韓半島鉄器文化と新羅」	孫明助（韓国国立清州博物館館長）	13時から
6月20日「古墳のはなしーテラマンから岡山までー」	甘粕健（新潟大学名誉教授）	14時から
6月27日「新羅の石造仏に見られる服飾品」	宮下佐江子（古代オリエント博物館研究員）	13時から
7月4日「考古学から見た新羅」	山本孝文（日本大学准教授）	13時から
7月11日「新羅のガラス」	四角隆二（岡山市立オリエント美術館学芸員）	13時から 聴講無料
7月18日「リュトンと角杯」	稲垣肇（MIHO MUSEUM 研究主任）	13時から
	木下亘（奈良国立博物館考古学研究室研究員）	
7月20日「五世紀の古墳勢力と東アジアの激動」	松木武彦（岡山大学准教授）	13時から